

事務連絡
令和8年2月10日

各都道府県建設業協会 事務局 御中

一般社団法人 全国建設業協会
事業部

DXデータセンターの今後の運用について（周知依頼）

平素は、本会の活動につき格段のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、BIM/CIM等の3次元データを保管し、受発注者が測量・調査・設計・施工・維持管理の事業プロセスや災害対応等で円滑に共有するための実証研究システムとして構築・運用が行われてきました「DXデータセンター」について、今般のシステム更改による今後の運用についての周知依頼および各地方整備局等へ事務連絡を発出した旨の連絡がございました。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、貴会会員企業の皆様にご案内賜りますようお願い申し上げます。

添付資料

・（参考）260206【事務連絡】DXデータセンターの今後の運用について（周知）

以上

【担当】事業部 平石
TEL : 03-3551-9396
FAX : 03-3555-3218
E-mail : jigyo@zenken-net.or.jp

事務連絡
令和8年2月6日

各地方整備局 企画部 技術管理課長 殿
北海道開発局 事業振興部 技術管理課長補佐 殿
沖縄総合事務局 開発建設部 技術管理課長 殿

大臣官房 技術調査課 課長補佐

DXデータセンターの今後の運用について（周知）

BIM/CIM等の3次元データを保管し、受発注者が測量・調査・設計・施工・維持管理の事業プロセスや災害対応等で円滑に共有するための実証研究システムとして「DXデータセンター」を構築し、「DXデータセンターの本格運用の開始について（周知）」（令和5年3月7日）に基づき運用しているところであるが、今般のシステム更改により運用を変更するので、通知する。

貴局においては、下記の通り、周知されたい。

記

1. 概要

DXデータセンターの国土交通省職員向けの一部機能のみを残し、令和8年3月2日で受注者領域（全体）、発注者領域（一部）を運用停止する。

2. 提供機能について

令和8年3月2日以降における各機能の利用可否の対照は、以下のとおり。発注者作業領域について、令和9年度まで運用予定であるが、今後運用停止する場合は事前に通知する。

| 機能 | 利用可否 | |
|---------------------|------|-----|
| | 発注者 | 受注者 |
| 発注者作業領域 | ○ | 斜線 |
| 受注者作業領域 | × | × |
| 仮想PC(VDI) | × | × |
| BIM/CIMアーカイブ | × | × |
| 3Dビューア（旧：WEB会議システム） | × | × |
| ポータルサイト | × | × |
| ヘルプデスク | × | × |
| サポートサイト | ○ | 斜線 |

1) 運用を停止する機能

①受注者作業領域

業務・工事の受注者がファイルの保存や発注者との情報共有等に使用する領域。令和8年3月2日以降、アクセスを停止し保存データはバックアップを作成せず削除するの

で、事前に必要なデータは利用者にて各自の保存媒体等に移動等されたい。

②仮想 PC (VDI)

高性能 PC に相当する作業環境へ接続し、3 次元モデルの閲覧、作成、編集等を実施する環境。

③BIM/CIM アーカイブ

過年度の BIM/CIM 適用業務・工事の成果品（平成 29 年度から令和 3 年度までの約 1,000 件）を保存。現在、電子納品・保管管理システムや国土交通データプラットフォームで業務・工事の成果品が検索・ダウンロード可能。

④3 D ビューア（旧：WEB 会議システム）

複数の 3 D モデルを統合して表示し、コメント追記やファイル添付等の朱書きを複数人で同時に見える機能を有するシステム。「3. 次期システムの構築に関して」に示す「3 次元データ共有システム」に機能を引き継ぐ。

⑤ポータルサイト

国土交通省職員が、受注者の ID やパスワードを発行及び管理したり、受注者がマニュアル等を確認したりするサイト。

（国土交通省職員向け）<http://××.××.××.××/endonym>

（受注者向け）<https://dxportal.nilim.go.jp/exonym>

⑥ヘルプデスク

DX データセンターヘルプデスク「dxhd@n-koei.co.jp」の運用を停止する。運用を継続する機能の利用方法等に関する問合せについては、「4. 問合せ先」までメールにて問合せされたい。

2) 運用を継続する機能

①発注者作業領域

行政 LAN に接続された PC から ID と「DX-LAN 内部専用」のパスワード入力により利用が可能な領域でこれまで同様以下の権限管理を実施する。なお、容量逼迫による動作不良を回避するため、定期的に不要なファイルは利用者自身で削除・移動等することに努めること。

・地方整備局等本局各部局のフォルダ (¥¥××.××.××.××¥Workspace¥地整番号)

当該部局内のデータ共有等に使用。当該部局のみが閲覧可能・編集可能であり、それ以外の部局、事務所は閲覧不可・編集不可。

・事務所のフォルダ (¥¥××.××.××.××¥Workspace¥地整番号¥事務所番号及び事務所名)

当該事務所内のデータ共有等に使用。当該事務所のみが閲覧可能・編集可能であり、それ以外の事務所、本局各部局は閲覧不可・編集不可。

・共有フォルダ (本省) (¥¥××.××.××.××¥Workspace¥80¥共有フォルダ(本省))

主に本省・地整間でのデータ共有等に使用。本省及び地整を含め全ての部局、事務所が閲覧可能・編集可能。フォルダ命名ルールを遵守すること。

・共有フォルダ (各地整) (¥¥××.××.××.××¥Workspace¥地整番号¥共有フォルダ(各地整))

主に地整本局・事務所間でのデータ共有等に使用。当該フォルダ直下のサブフォルダについては各地整の判断により設定してよい。本省及び地整を含め全ての部局、事務所が閲覧可能・編集可能。フォルダ命名ルールを遵守すること。

②サポートサイト

発注者作業領域の機能や利用手順に関する最新のマニュアル等を掲載する、国土交通省職員向けのサイト。

<http://××.××.××.××/index.html>

3. 次期システムの構築に関して

令和5年度のBIM/CIM原則適用以降、直轄土木業務・工事におけるBIM/CIM適用件数は増加しており、令和9年度以降には、3次元モデルの工事契約図書化を予定している。一方で、3次元モデルを取り扱う環境構築（パソコン・ソフトウェア等の維持等）やソフトウェア間のデータの互換性に関しては依然として課題があり、受発注者間でのデータ共有の円滑化や3次元モデルの閲覧環境として「3次元データ共有システム」の構築を予定している。

1) 主要機能

3次元データ共有システムの主要機能は、次のとおりである。

① 3次元ビューワ機能

- ・BIM/CIMで取り扱う3次元データを閲覧する機能
- ・3次元CADソフトウェアのオリジナル形式と標準的なデータ形式に対応
【対応予定フォーマット】IFC、J-LandXML、BFO、BFOX、FBX、LAS、OBJ、DWG
※随時対応フォーマットを拡充していく予定

② アクセス権管理機能

- ・システムへのアクセス権限を管理する機能
- ・業務・工事毎にアクセス権を管理し、情報管理を行う

③ ポータル機能

- ・3次元データ共有システムの入り口となる機能
- ・システムの概要や操作方法等を解説する

2) 利用対象者

国土交通省職員、受注者

3) 利用開始期間

令和8年末ごろを予定（具体的な期日を決定しましたら、別途周知します）

4. 問合せ先

大臣官房 技術調査課 参事官（イノベーション）グループ

課長補佐 藤本 fujimoto-y2mg@mlit.go.jp (内線 80-22335)

建設システム係長 柴田 shibata-n8488@mlit.go.jp (内線 80-22338)

国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 社会資本情報基盤研究室

主任研究官 堀口 horiguchi-k2bu@mlit.go.jp (内線 8092-3825)

主任研究官 光谷 mitsutani-y2az@mlit.go.jp (内線 8092-3847)

研究官 山口 yamaguchi-t88pz@mlit.go.jp (内線 8092-3826)

研究官 田村 tamura-r84w3@mlit.go.jp (内線 8092-3849)

以上